

平成 20 年度 第3回
産業界から見た土木高等教育のあり方に関する検討小委員会
議事録

日 時：平成 20 年 9 月 19 日（火） 15：00～17：00

場 所：土木学会 B 会議室

出席者（敬称略）

：村田、吉川、井上、東、河野、上野、吉原、関根

（欠席：池田、室井、尾高、正本）

オブザーバー：田中

- 議 題
1. 議事録の確認
 2. キャリアパス
 3. 今後の検討の方向性など
（親委員会への対応）
 4. その他

- 配布資料
- 資料 3-1 前回議事録（H20 第 2 回）
 - 資料 3-2 親委員会への提出資料
 - 資料 3-3 各委員からの提出資料
 - 資料 3-4 各委員からの取りまとめ資料

議事概要

1. 前回議事録の確認および親委員会への提出資料について
 - ・ 前回議事録内容を村田委員長が説明した。
 - ・ 親委員会（産業界教育検討小委員会：8 月 21 日開催）への経過報告の内容および提出資料について説明があった。
 - ・ 11 月に開かれる予定の親委員会において、これまで検討した内容を具体的に報告する予定であるとの説明があった。
2. キャリアパスについて
 - ・ 高校生および大学生が勤めたいと思う内容のキャリアパスをどう表現するか難しいが、年代毎のキーワードを取り出し、その年代での業務内容を易しい表現で文章化すればよい。
 - ・ また、3 パターン（建設、コンサルタンツ、役所）に整理する必要がある。
 - ・ 三者構造の役割分担およびフレキシブルな関係を説明する。
 - ・ 次回までに建設会社およびコンサルタンツ会社のそれぞれのパターンをとりまとめる。またそれに基づいて、行政職についてもとりまとめる。

3. 今後の検討の方向性（教育界への提言）

- ・ 教育界と産業界で交流が活発になるように、産業界社員が博士の資格をもっと取得できる仕組みを教育界に作る必要があるのではないか。
- ・ 基礎的な教育をしてほしい。土木技術の基礎となる学科の履修もさることながら、教養課程（経済、財務等を含む）を充実させてほしい。また、社会人としての躰なども教育界で教育してほしい。
- ・ 企業と連携して最新技術を教えてほしい。
- ・ 次回までに教育界へ求める教育について整理する。

4. その他

- ・ 次回小委員会 10月22日（金）15：00～

以上